



News Release

2020年6月25日
NITE（ナイト）
独立行政法人製品評価技術基盤機構
北海道支所

エアコンの内部洗浄による事故に注意 ～製造から長期間経過した換気扇・扇風機にも注意～

1. 事故の発生状況

2015年度から2019年度の5年間にNITE（ナイト）に通知された製品事故情報^{※1}のうち、エアコン、換気扇、扇風機の事故は、北海道で合計8件^{※2}ありました。

(1) 年度別事故発生件数

年度別事故発生件数を表1に示します。

表1 年度別事故発生件数（2015～2019年度のエアコン・換気扇・扇風機の事故）

発生年度	合計
2015年度	2
2016年度	0
2017年度	1
2018年度	2
2019年度	3
合計	8

(2) 被害状況別事故発生件数

被害状況別事故発生件数^{※3}を表2に示します。

表2 被害状況別事故発生件数（2015～2019年度のエアコン・換気扇・扇風機の事故）

被害状況		合計
人的被害	死亡	0
	重傷	0
	軽傷	0
物的被害	拡大被害	7
	製品破損	1
被害なし		0
合計		8

- (※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含める。
- (※2) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。
- (※3) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

2. 主な事故事例

(1) エアコン

○2018年6月（北海道、30歳代・女性、使用期間約9年、拡大被害）

事故内容：エアコン付近から出火し、周辺を焼損した。

事故原因：使用者が当該製品を設置した際に、当該製品の電源プラグを延長コードに接続し、さらに接続部が宙に浮いた状態で使用していたため、接続部が緩む等により接触不良が生じて異常発熱し、焼損したものと推定される。

なお、取扱説明書には、「据え付けは販売店又は専門業者に依頼する。延長コードは使用しない。感電や火災の原因になる。」旨、記載されている。

(2) 換気扇

○2015年7月（北海道、40歳代・男性、使用期間約30年、拡大被害）

事故内容：換気扇及び周辺を焼損する火災が発生した。

事故原因：約30年の長期使用により、モーター巻線の絶縁が劣化し、レイヤショートが生じたため、モーターが過熱し、出火したものと推定される。

3. エアコンの内部洗浄による事故を防ぐポイント

- ① エアコンの内部洗浄はできるだけ正しい知識を持った業者に依頼する。
- ② エアコンの内部洗浄を行う際は、電気部品に洗浄液がかからないよう注意する。
- ③ 消毒用アルコールなどの揮発性の溶液や、次亜塩素酸ナトリウム（漂白剤）などの腐食性のある溶液を使用しない。

4. 換気扇・扇風機の事故を防ぐポイント

- ① 事故の前兆を見逃がさない。（羽が回転するとき異常な音や振動がある等異常が見られる場合は、使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜き、購入店または製造・輸入事業者の修理窓口に相談する。
- ② 使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く。
- ③ 古い換気扇・扇風機は買い替えを検討する。

5. 事故の実験映像について

事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITE のロゴ」としてください。

(本件に関する問い合わせ先)

〒060-0808 北海道札幌市北区北八条西2丁目

札幌第1合同庁舎 4階

独立行政法人製品評価技術基盤機構 北海道支所

担当者: 鈴木、下川

電 話: 011-709-2324